

近畿学校保健学会通信

No. 113

平成 18 年 3 月 2 日 発行
近 畿 学 校 保 健 学 会 事 務 所
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
神戸大学発達科学部石川研究室内
TEL&FAX 078-803-7737
kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
振替口座 00940-5-181826

目 次

1. 第 53 回近畿学校保健学会開催のご案内 2
学会長 津田謹輔 (京都大学大学院人間・環境学研究科・教授)
2. 第 53 回近畿学校保健学会開催要項 3
3. 「演題発表」「抄録集原稿の作成要領」にあたっての留意事項 4
4. 第 53 回近畿学校保健学会演題申し込み用紙 5
5. 故 笠松勇次先生のご逝去を悼む 7
6. 平成 17 年度第 3 回幹事会議事要録 8

近 畿 学 校 保 健 学 会 「 ア ー カ イ ブ 」 —学校保健の領域のみならず他の学会にも先駆けて—

近畿学校保健学会の過去の記録がすべて検索できます。

- (1) 近畿学校保健学会抄録集 (演題名、氏名、要旨)
- (2) 近畿学校保健学会通信
- (3) 近畿学校保健学会 50 周年記念誌 (抜粋) など

<http://home.kobe-u.com/kinki-sha/> または <http://tell-n.homeip.net/doc>

過去の発表資料や記事などをキーワードや氏名などで検索できます。

第53回近畿学校保健学会開催のご案内

第53回近畿学校保健学会

学会長 津田謹輔

(京都大学大学院人間・環境学研究科・教授)

このたび第53回近畿学校保健学会のお世話をさせていただくことになりました。大変光栄に思うのと同時に伝統のある学会ですので責任の重さを感じています。

今年は平成18年6月17日(土)に京都大学百周年時計台記念館で開催致します。昨年のすばらしい学会に負けないよう努力致します。

現在までの準備状況をお知らせします。午前中は例年どおり一般演題の発表を予定しています。多くの演題が集まり活発な議論が行われることを期待しています。

私は糖尿病を専門にしています。大学の教養科目では健康科学を担当して若い頃からの生活習慣の重要性を講義し生活習慣病の予防に努めています。

そこで午後は「生活習慣病の予防」を共通テーマに講演を組みました。しかしこころの問題に関心の会員もたくさんおられます。そこで以下のように企画しました。

1) 特別講演の東山紘久先生(京都大学副学長)には、臨床心理学、教育学の立場から「こころの健康」についてお話しをしていただきます。ストレスについても触れていただけたらと期待しています。

2) 会長講演は教育講演の基調講演の形で、京大における健康教育の一端を紹介し、生活習慣病の予防やなかでも食の重要性を述べたいと考えています。

食育基本法が動き始めました。栄養士会にこの学会への参加を呼びかけています。

3) 生活習慣病とは、「食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が、その発症や進展に関わる疾患群」といえます。生活習慣病の予防には若い頃からの生活習慣が重要であるとの観点から、学童期の肥満や運動、タバコ、アルコールといった古くからの問題を改めて考える教育講演を組みました。

4) 今まで一般演題でしばしば議論されていた性教育の問題もとりあげておきたいと考えました。

限られたスタッフですが、実りある有意義な学会にできるよう努力しています。是非多くの会員のご参加をお待ちしています。

第53回近畿学校保健学会（平成18年度 年次学会）開催要項

1. 学会長 京都大学 人間・環境学研究科 津田 謹輔
2. 事務局 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学 人間・環境学研究科 津田研究室気付
第53回近畿学校保健学会事務局
TEL & FAX 075-753-6882
E-mail: 06kinkigakko@tom.life.h.kyoto-u.ac.jp
銀行口座
三菱東京UFJ銀行 聖護院支店
普通預金 口座番号 4511856
第53回近畿学校保健学会 代表 津田 謹輔
3. 開催日 平成18年6月17日（土）
4. 会場 京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール
5. 日時 平成18年6月17日 9時～17時（予定）
午前：一般演題
昼：評議員会
午後：総会
・特別講演 東山 紘久（京都大学副学長）
・基調講演 津田 謹輔（京都大学人間・環境学研究科）
健康科学 ― 食の重要性（仮題）
・教育講演 < 生活習慣病の予防にむけて >
1（学童期の運動と肥満）岡山県立大学 永井 成美先生
2（たばこ） 奈良女子大 高橋 裕子先生
3（アルコールと脂肪肝）京都大学医学部 福田 善弘先生
4（性教育） 京都大学医学部国際保健学 木原 雅子先生
6. 参加費（含資料代） 正会員3,000円（年会費）、当日会員2,000円、当日学生会員1,000円
7. 参加申込
学会員の有無に関係なく、また近畿内外を問わず、当日参加を歓迎します。
詳細は当学会ホームページを御覧下さい。
尚、一般演題発表者は共同研究者を含めて正会員になる必要があります。
※会員でない方は、「近畿学校保健学会事務局」に入会手続きをしてください。
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学発達科学部 石川研究室内
TEL & FAX 078-803-7737
8. 一般演題申込
演題発表者は、演題申込用紙に必要事項を記入の上、平成18年4月10日（月）までに、第53回近畿学校保健学会事務局まで申し込んで下さい。また、抄録集用の原稿は、原稿作成要項（別紙）を参照して、5月6日（土）までに、第53回近畿学校保健学会事務局まで、原稿在中と朱書きして送付してください。Eメールも可能です。後日、発表時間等をお知らせします。
【 Eメール 06kinkigakko@tom.life.h.kyoto-u.ac.jp 】
9. 懇親会
6月17日 18時より芝蘭会館にて懇親会を開催しますので、ぜひお気軽に参加下さい。
当日、受付での参加申し込みも歓迎します。会費は5,000円（予定）です。

「演題発表」「抄録集原稿の作成要領」にあたっての留意事項

1) 演題発表申し込みについて

別紙の演題発表申し込みに必要な事項を記入の上、平成 18 年 4 月 10 日（月）までに FAX か、E メールか、郵送で申し込んでください。

今回第 53 回学校保健学会の抄録集用原稿については、原稿用紙を送付いたしません。

各自、下記の要領に沿って作成し、郵送か E メールでお送りください。

2) 抄録集用原稿作成の要項について

抄録原稿は、原則として、パソコンの一太郎あるいは Wordでご執筆ください。その場合、A4 の用紙 1 ページで、上下 30、左右 25 の余白枠を超えないようお願いします。

演題名は中央にして、フォント 12P で強調文字に。

一行空けて、用紙の右側に発表者名、共同研究者名、所属を 10P で記入、発表者には○印をつけてください。

一行空けて、用紙の左側にキーワードを 2～4 個、9P で記入してください。

改行して、本文となります。

本文は、10P で、2 段に分け、24 字で、真ん中は 3 字空けて 40 行で、文章を収めてください。書体は、明朝体かゴシックをお願いします。

「本文」では、研究・実践目的、研究・実践方法、研究・実践結果、考察を明確に、簡素に記述してください。必要があれば、収まる範囲で図や表を入れてください。

抄録集の原稿締め切りは、平成 18 年 5 月 6 日（土）消印有効をお願いします。

郵送の場合：原本とコピー 2 部、フロッピーを下記事務局までお送りください。

封筒には、朱書きで「第 53 回近畿学校保健学会 抄録集原稿在中」と記入してください。

E メールの場合：一太郎あるいは Wordで作成し、添付ファイルとして、「抄録原稿」として送信してください。

< 06kinkigakko@tom.life.h.kyoto-u.ac.jp >

3) 発表のお知らせについて

原稿を戴いて、演題申し込み書を確認したのち、各自の連絡先にお知らせいたします。

4) 発表についての留意事項

発表は、一演題につき、発表時間 10 分、質疑応答時間 5 分を予定しています。

学会当日はオーバーヘッドプロジェクター・パワーポイント用プロジェクターを準備致します。

コンピューターはご持参ください。資料配布していただいても結構です。

以上、不明な点がございましたら、下記の連絡先にお問い合わせいただければ幸いです。

連絡先：〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学 人間・環境学研究科 津田研究室気付

第 53 回近畿学校保健学会事務局

TEL & FAX 075-753-6882

E メール：06kinkigakko@tom.life.h.kyoto-u.ac.jp

第 53 回近畿学校保健学会演題申し込み用紙

(1 題 1 葉に記入してください。下記の注意を守ってください)

演題名	
発表者氏名	所属 (連名の時は演者の前に○印、新入会員には*印)
連絡先 〒	住所
氏名	
電話・FAX 番号:	
E メールアドレス:	
発表要旨 (100 字程度)	
キーワード (3 ~ 5 個)	
()	

注 意

1. 演題締め切り: 平成 18 年 4 月 10 日 (月) (必着)
2. 申し込み方法: (1) FAX による方法; FAX 番号 075-753-6882
(2) E メールによる方法; < 06kinkigakko@tom.life.h.kyoto-u.ac.jp >
(3) 郵送による方法; 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学 人間・環境学研究科 津田研究室気付
第 53 回近畿学校保健学会事務局
3. 申し込み用紙の不足のときはコピーして使用してください。
(1 題 1 葉をお願いします。演題発表日時等は追って連絡します)
4. 記載事項の訂正はできませんのでご了承ください。
5. 個人のプライバシーを遵守してください。
6. 発表内容は、学校保健の立場に立脚し、具体的な資料に基づいた研究発表を期待します。
7. その他については、開催要綱をご覧ください。
8. 抄録集用の原稿は、原稿作成要項に添って各自作成の上、①原稿とフロッピー等を郵送か、②E メールで送信してください。締め切りは平成 18 年 5 月 6 日 (土) (消印有効)

事務局使用欄	受付番号	返送日	月	日
演題名				
発表時間: 6 月 17 日 午前 時 分から 時 分まで				

故 笠松勇次先生のご逝去を悼む

本学会名誉会員 笠松勇次先生が平成 18 年 1 月 15 日、和歌山市内の病院においてご逝去されました。享年 84。謹んで弔意をささげます。

笠松勇次先生は大正 10 年 12 月 25 日和歌山県日高郡日高町にてお生まれになり、昭和 18 年 3 月和歌山県師範学校本科第二部を卒業。更に昭和 22 年 3 月東京体育専門学校（現・筑波大学）を卒業されると同時に、文部教官として和歌山青年師範学校勤務となり、その後和歌山大学学芸学部講師、助教授を経て昭和 45 年 4 月和歌山大学教育学部教授になりました。昭和 52 年 4 月から 2 年間は和歌山大学学生部長並びに評議員を併任され、大学の管理・運営に携わりました。昭和 62 年 3 月、定年により和歌山大学を退職。その後、鳴門教育大学教授（実技教育研究指導センター長）として 5 年間勤務されました。和歌山・鳴門教育の両大学から名誉教授の称号を授与されています。更に平成 9 年の秋、勲三等旭日中綬章の荣誉に浴されました。

このように笠松先生は一貫して大学での教育研究に当たられ、その成果を学校現場の体育指導の実践や地域社会での生涯体育に向けられました。

また、近畿学校保健学会では永年にわたって評議員として積極的に貢献され、シンポジウムの司会や口頭発表も行いました。特に昭和 50 年に開催された本学会の和歌山大会では、学会事務局長として活躍されました。

ここに謹んで笠松勇次先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

（和歌山大学名誉教授・関西鍼灸大学教授 松岡勇二）

近畿学校保健学会幹事選挙について

平成 18 年度及び平成 19 年度近畿学校保健学会幹事選挙を行います。

選挙は各府県別に評議員の中から候補者を選び規定の投票用紙にて投票します。

平成 18 年 3 月 25 日までに会員全員が投票を済まされますようお願いいたします

近畿学校保健学会幹事会議事録

平成 18 年 2 月 4 日 13:30 より 神戸大学発達科学部 A417

出席者: 石川、板持、大谷、金井、勝野、後和、武田、林、八木、横尾、(津田)

1 第 53 回近畿学校保健学会について

津田謹輔先生から資料に基づいて開催要項の説明があった。

発表申込期間等変更の上、開催要項が承認された。

2 評議員の追加について

平成 18 年度、19 年度の評議員について代表幹事から推薦があり、以下の者が決定した。なお、奈良県と和歌山県については検討中とのことで、事後承諾することとした。

中川雅生 滋賀医科大学小児科学教室

荒田良成 京都府歯科医師会

篠山 哲 京都大学医学部保健学科

大川尚子 関西短期大学

中村晴信 神戸大学発達科学部

森脇裕美子 姫路獨協大学

3 選挙管理委員選出

選挙管理委員につき、各代表幹事から以下の者の推薦があった。

選挙は 3 月中に実施することです承した。

滋賀:林正、 京都:井上文夫、 大阪:後和美朝、 兵庫:大橋郁代、 奈良:北村昭英、 和歌山:森岡郁晴

4 学会ホームページについて

横尾先生報告: 50 周年記念の記念誌をアーカイブに入れました。膨大な資料になるので分割化して掲載した。40 万程度かかる。

5 次回開催日

5 月 7 日(日曜日)13:30 より 京都にて

平成 17 年度会費未納者に対する会費納入のお願い

平成 17 年度会費の未納の方は会費納入ください。

よろしくお願い致します。